Utagawa Hiroshige

広重の最後にして、最大の挑戦を読み解く

1.

江戸時代後期に名所絵で一世を風靡し、生涯にわたって第一線で活躍し続けた絵師・歌川広重(1797-1858)。「名所江戸百景」は広重が最晩年に手がけ、当時の江戸の様子を描き尽くした代表作であり、世界的にも広く知られた名品です。

本作を広重が手掛けたのは、数え年60歳から62歳で亡くなるまでの3年間。一部は死後に出版されたという、まさに絶筆と言ってよい作品であり、同時に広重の生涯において、最大の作品数を誇るシリーズです。

本作は、それまでの浮世絵の風景画にはあまり見られなかった奇抜な構図を数多く採用したことでも知られています、また江戸市中を中心とした100箇所以上の名所を描く中で、広重はそれまで見過ごされていた新しい名所を精力的に開拓し、絵に写し取りました。さらに風景画にもかかわらず最新の世相を盛り込むなど、数々の趣向を凝らした、極めて挑戦的な作品でもあったのです。

本展は、当館では約8年ぶりとなる、シリーズ全120点*を前後期に分けて一挙公開する貴重な機会です。全作の展観を通じ、広重の"最後の挑戦"の様子と、たどり着いた境地を作品から読み解きます。名作の圧倒的な魅力を、ぜひ会場でご体感ください。

*うち1点は二代歌川広重作、1点は目録。

2.

3.

4.

5.

6.

7.

8.

1.「名所江戸百景　亀戸梅屋舗」(前期)
2.「名所江戸百景　大はしあたけの夕立」(後期)
3.「名所江戸百景　深川洲崎十万坪」(前期)
4.「名所江戸百景　日本橋江戸ばし」(前期)
5.「名所江戸百景　王子音無川堰棟　世俗大瀧ト唱」(後期)
6.「名所江戸百景　浅草金龍山」(前期)
7.「名所江戸百景　浅草田甫酉の町詣」(前期)
8.「名所江戸百景　猿わか町よるの景」(後期)

全て歌川広重作、太田記念美術館蔵

太田記念美術館

ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10
【アクセス】JR山手線　原宿駅(表参道口)より徒歩5分
東京メトロ千代田線・副都心線　明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

【リピーター割引】会期中2回目以降ご鑑賞の方は半券のご提示にて200円割引(他の割引との併用はできません)

【お問合せ】050-5541-8600(ハローダイヤル)
【公式サイト】https://www.ukiyoe-ota-muse.jp/
【公式X(旧twitter)】@ukiyoeota
※予告なく予定を変更することがあります。また、入場および観覧に際し、制限・制約やご協力をお願いする場合がございます。ご来館の前に、当館ウェブサイトやハローダイヤルにて最新情報をご確認ください。

@ ukiyoeota
公式サイト
@OTA_MEMORIAL_MUSEUM